

設計用気象データ DsnNavi の使い方

May, 2020

株式会社 気象データシステム (MetD S)
Meteorological Data System, Co., Ltd.

目次

1.	ソフトウェアのダウンロードと起動.....	1
2.	操作方法.....	1
2.1.	インターフェイスの切り替え.....	1
2.2.	地点選択の方法.....	2
2.3.	ミニマップの使い方.....	3
2.4.	グラフ表示.....	4
2.5.	設計用気象データ ファイル出力.....	5
3.	出力されるファイル.....	6

1. 著作権・使用許諾について

本ソフトウェアのダウンロードファイル圧縮ファイル内に同梱している PDF ファイル「設計用気象データ DsnNavi を使用するにあたって 使用許諾契約書」に記載されていますので、ご一読ください。その内容に同意する場合に限り、本書で解説するプログラムを使用できます。本ソフトウェアを起動した時点で、その内容に同意したものと見なします。

2. 動作環境について

本ソフトウェアは、Windows10 での使用を前提に開発され、日本語版 Windows 10 において動作の確認をしています。動作に必要な最低限の画面の解像度は、1368 x 768 ドットですが、縦の解像度が 1000 以上で快適に動作します。本ソフトウェアのインストール先には、約 1GB の空き容量が必要です。

3. お問い合わせについて

本ソフトウェアに関するお問い合わせは、E-mail もしくはお問い合わせフォームにてお願いします。(電話、FAX 等でのお問い合わせは受け付けておりません。)

[E-mail] ea@metds.co.jp

1. ソフトウェアのダウンロードと起動

本ソフトウェアは、株式会社気象データシステムのホームページ (<https://www.metds.co.jp>) から、必要事項を入力してダウンロードできます。本ソフトウェアは圧縮ファイル（ファイル名：DsnNavi.zip）で配布されており、解凍ファイル内に、プログラムファイル「DsnNavi.exe」があります。本ソフトウェアはインストールを必要とせず、「DsnNavi.exe」を任意の場所に配置し、ダブルクリックにより起動できます。

2. 操作方法

2.1. インターフェイスの切り替え

本ソフトウェアは図1に示す「地点選択画面」と「グラフ表示 ファイル出力 画面」の2つのインターフェイスで構成されており、左下の切り替えボタンにより、相互に切り替えることができます。

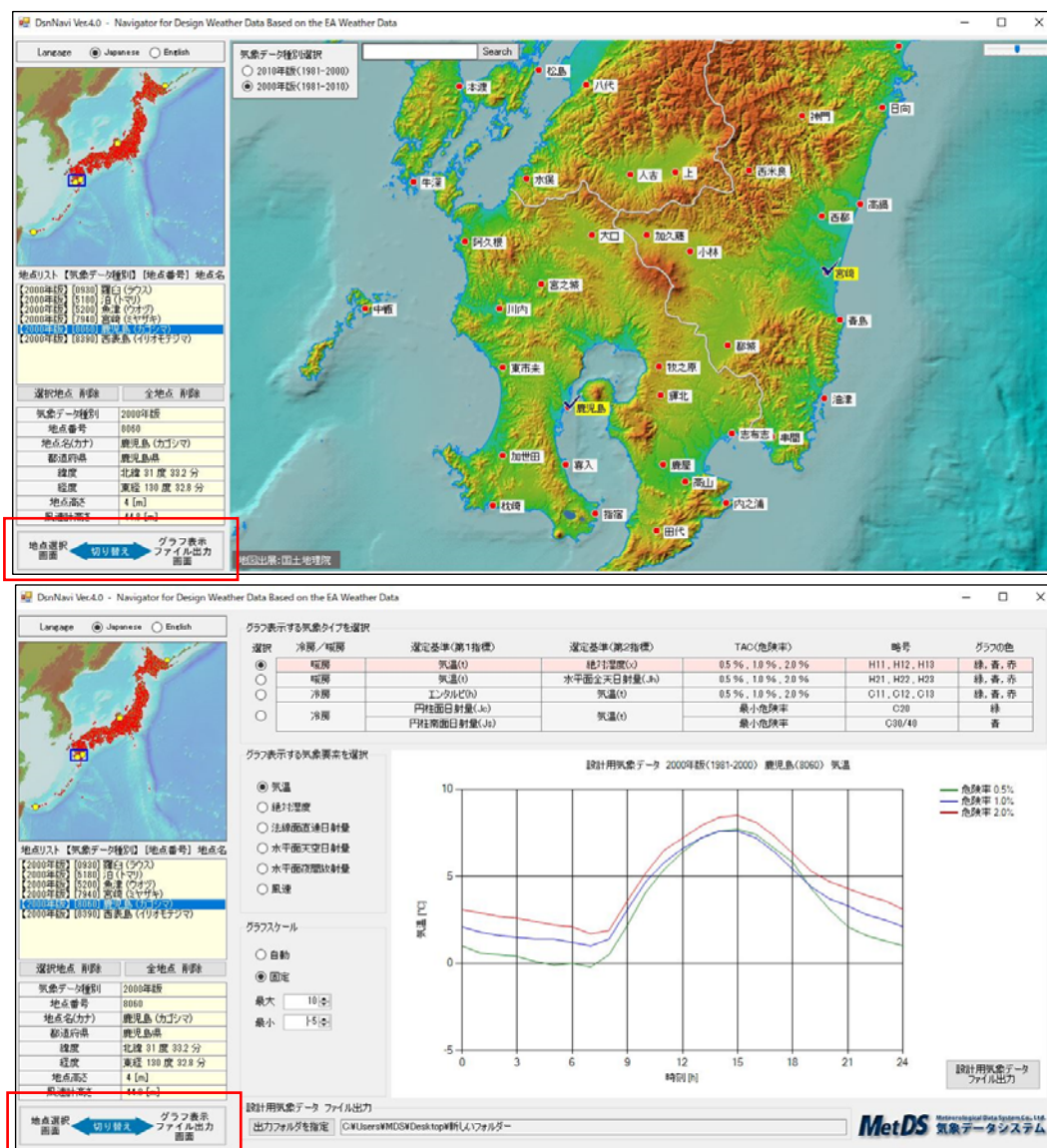


図1 DsnNavi のインターフェイス

上は「地点選択画面」、下は「グラフ表示 ファイル出力 画面」

2.2. 地点選択の方法

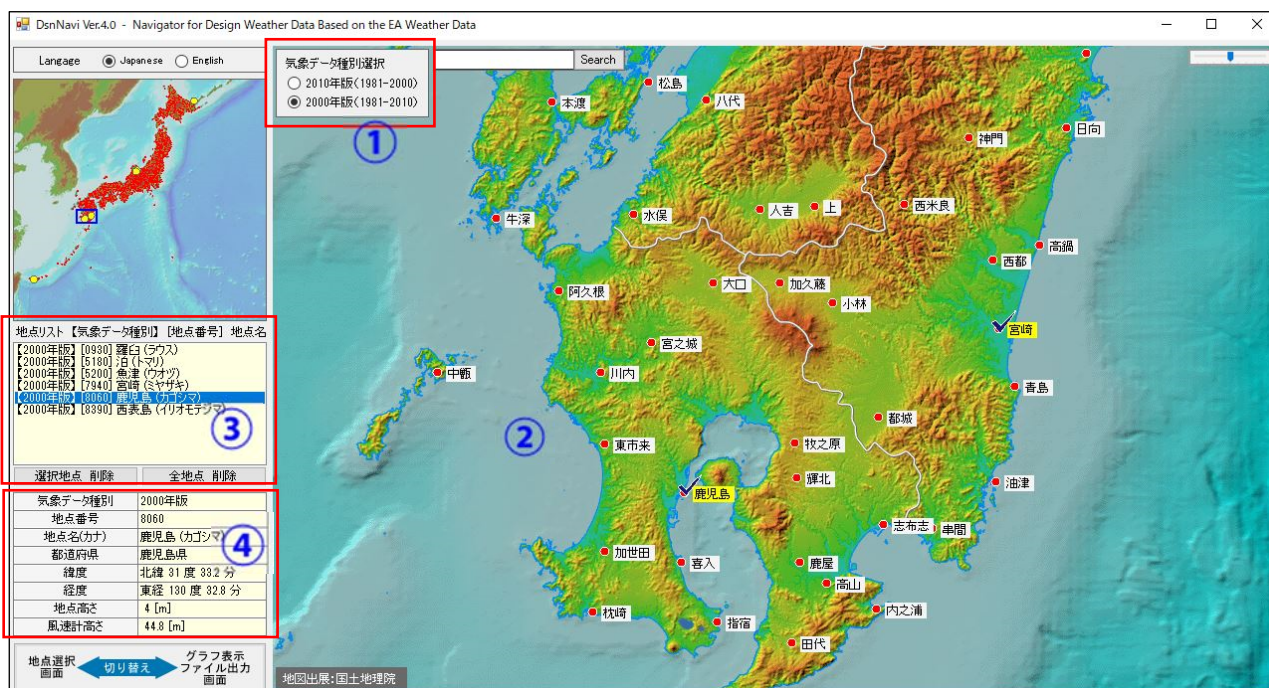


図2 地点選択画面

① 気象データ種別の選択

- ・2010年版(1981-2010)：1981-2010年(30年間)のEA気象データから作成された設計用気象データ
- ・2000年版(1981-2000)：1981-2000年(20年間)のEA気象データから作成された設計用気象データ

② 地点の選択

選択したい地点のラベルをクリックすることにより、地点を選択できます。すでに選択されている地点をクリックすると選択が解除されます。**最大10地点**まで選択することができます。

③ 地点リスト

選択された地点が表示されます。

④ 地点詳細情報

地点リスト内の任意の地点をクリックすると、緯度や経度などの詳細情報が表示されます。

マップの操作

- ・マウスホイール
マウスホイールにより地図を拡大縮小することができます。
- ・ドラッグ
ドラッグすることにより地図を移動することができます。

2.3. ミニマップの使い方

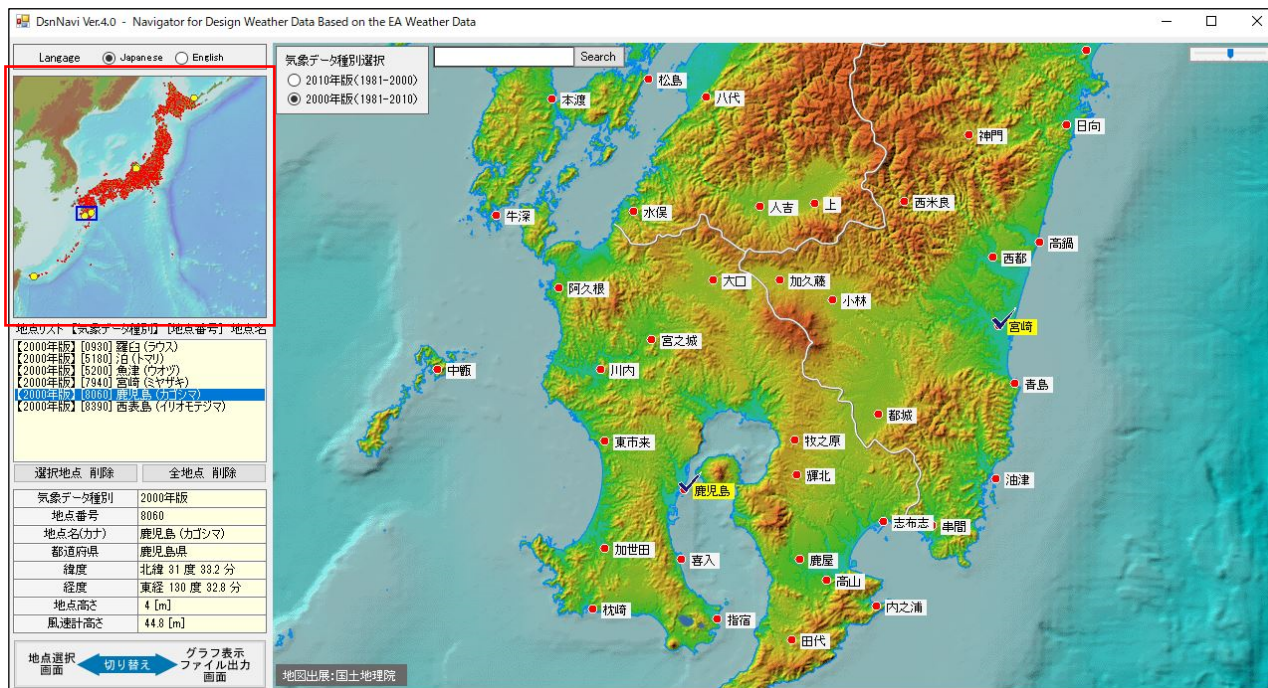


図3 地点選択画面左上にあるミニマップ

図3に示す左上に配置されているミニマップには日本全国が表示されており、地点位置は赤色、選択地点位置は黄色の点が表示されています。また、メインマップに表示されているエリアがどこにあるかが青い四角形で表示されています。

ミニマップの便利な使い方

- ・ミニマップ上をクリック
任意の場所をクリックすると、その場所にジャンプすることができます。
- ・ミニマップ上の青い四角形をドラッグアンドドロップ
青い四角形にマウスを近づけると手のマークになり、その状態でドラッグすると青い四角形を移動させることができます。

2.4. グラフ表示

図4 地点選択画面左上にあるミニマップ

Language: Japanese English

グラフ表示する気象タイプを選択

選択	冷房/暖房	測定基準(第1指標)	測定基準(第2指標)	TAC(危険率)	略号	グラフの色
<input checked="" type="radio"/>	暖房	気温(t)	絶対湿度(x)	0.5%, 1.0%, 2.0%	H11, H12, H13	緑, 青, 赤
<input type="radio"/>	暖房	気温(t)	水平面全天日射量(Jh)	0.5%, 1.0%, 2.0%	H21, H22, H23	緑, 青, 赤
<input type="radio"/>	冷房	エンタルピー	気温(t)	0.5%, 1.0%, 2.0%	C11, C12, C13	緑, 青, 赤
<input type="radio"/>	冷房	円柱面日射量(Jc)	気温(t)	最小危険率	C20	緑
		円柱南面日射量(Js)	気温(t)	最小危険率	C30/40	青

グラフ表示する気象要素を選択

気温
 絶対湿度
 法線面直達日射量
 水平面天空日射量
 水平面夜間放射量
 風速

グラフスケール

自動
 固定

最大: 10
 最小: -5

設計用気象データ 2000年版(1981-2000) 鹿児島(8060) 気温

気温 [°C]

時刻 [h]

危険率 0.5% (緑)
 危険率 1.0% (青)
 危険率 2.0% (赤)

設計用気象データ ファイル出力

設計用気象データ ファイル出力
 出力フォルダを指定 C:\Users\MDS\Desktop\新しいフォルダ

MetDS Meteorological Data System Co., Ltd. 気象データシステム

各気象タイプのグラフを描くことができます。

① 気象タイプの選択

指標となる条件と危険率に基づき 11 の気象タイプがあり、それが 4 つのグループに分けられています。グラフを描きたい気象タイプを選択します。

② 気象要素の選択

グラフを描きたい気象要素を選択します。

③ 地点の選択

グラフを描きたい地点を選択します。

④ グラフスケール

各地点のグラフを比較したい時、グラフスケールが自動的に変化すると比較しにくくなることがあります。その場合には、グラフスケールを固定してください。ただし、気象タイプを変更したとき、また、気象要素を変更したときには、自動的に「自動」に戻ります。

2.5. 設計用気象データ ファイル出力

Langage Japanese English

グラフ表示する気象タイプを選択

選択	冷房/暖房	選定基準(第1指標)	選定基準(第2指標)	TAC(危険率)	略号	グラフの色
<input checked="" type="radio"/>	暖房	気温(t)	絶対湿度(x)	0.5%, 1.0%, 2.0%	H11, H12, H13	緑, 青, 赤
<input type="radio"/>	暖房	気温(t)	水平面全天日射量(Jn)	0.5%, 1.0%, 2.0%	H21, H22, H23	緑, 青, 赤
<input type="radio"/>	冷房	エンタルピー(t)	気温(t)	0.5%, 1.0%, 2.0%	C11, C12, C13	緑, 青, 赤
<input type="radio"/>	冷房	円柱面日射量(Jc)	気温(t)	最小危険率	C20	緑
		円柱南面日射量(Js)		最小危険率	C30/40	青

グラフ表示する気象要素を選択

気温
 絶対湿度
 法線面直達日射量
 水平面天空日射量
 水平面夜間放射量
 風速

グラフスケール
 自動
 固定
最大
最小

設計用気象データ 2000年版(1981-2000) 鹿児島(8060) 気温

気温 [°C]

時刻 [h]

危険率 0.5% (緑)
危険率 1.0% (青)
危険率 2.0% (赤)

設計用気象データ ファイル出力

設計用気象データ ファイル出力
出力フォルダを指定

MetDS Meteorological Data System Co., Ltd.
気象データシステム

① 出力フォルダを指定します。

初回起動時には必ず設定してください。二回目以降の起動時には、前回設定したフォルダが設定されています。

② 設計用気象データファイル出力

このボタンを押すとファイル出力が始まります。

3. 出力されるファイル

(1) 出力フォルダとして指定したフォルダの下層に以下の2つのフォルダが自動的に作成されます。

- ・ 「2000」・・・ 2000年版の設計用気象データが格納されます。
- ・ 「2010」・・・ 2010年版の設計用気象データが格納されます。

(2) 「2000」「2010」フォルダの下層に地点番号と地点名の付されたフォルダが作成されます。

<例> 宗谷岬の場合のフォルダ名：「0010_Soyamisaki」

(3) 地点番号と地点名の付されたフォルダ内に、11個の設計用気象データファイルが作成されます。

同一ファイル名のファイルがあった場合には上書きされます。

出力ファイルについて

出力される拡張子を hasH とする各ファイルのフォーマットは、同梱しているファイル「設計用気象データ 技術解説」で解説しています。「設計用気象データ 技術解説」を参照してください。

設計用気象データ
DsnNavi の使い方

編集・著作 株式会社 気象データシステム
印刷・発行 株式会社 気象データシステム

URL <https://www.metds.co.jp/>

© 気象データシステム 2020
